

伊集院保健所感染症情報

2024年第52週～2025年第1週（令和6年12月23日～令和7年1月5日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内警報発令中：インフルエンザ

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				県		
	開始	終息	基準値	第50週	第51週	第52週	第1週	先週からの増減	第51週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	31.60	63.60	76.40	58.40	↘	65.57	→
COVID-19	-	-	-	0.60	0.80	4.00	9.60	↗	2.45	→
咽頭結膜熱	3	1	-	2.00	1.67	1.33	0.00	↘	0.73	→
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	5.00	2.33	1.67	1.33	↘	2.14	→
感染性胃腸炎	20	12	-	4.00	4.00	8.00	2.33	↘	5.37	→
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.41	→
手足口病	5	2	-	3.67	1.67	2.33	1.67	↘	2.49	→
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	→
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.39	→
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.02	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.00	→
RSウイルス感染症	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.39	→

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）のキャッチアップ

接種（公費による接種機会）期間延長について

HPVワクチンのキャッチアップ接種については、HPVワクチンの積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対して、公平な接種機会を確保する観点から、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間で、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行うこととしていきます。

HPVワクチン接種は3回行う必要がありますが、昨年夏以降の需要の大幅な増加に伴うワクチンの限定出荷状況を踏まえ、キャッチアップ接種として今年3月の制度終了時までに1回以上接種をしている者については、期間終了後公費で3回の接種を完了できるよう、経過措置が設けられました。

また、接種対象者についても平成20年度生まれの女子が新たに加えられました。

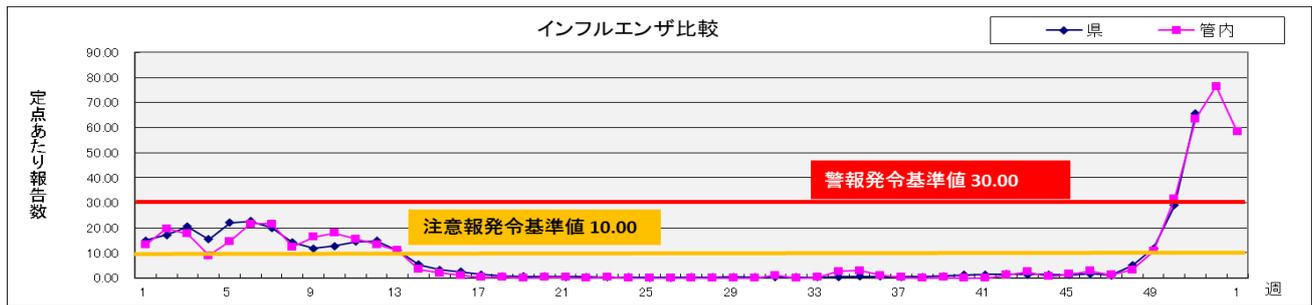
対象者：平成9～20年度生まれの女性の方

接種開始月：令和7年3月までに1回目の接種を開始する必要があります。

公費によるHPVワクチン接種期限（令和8年3月）まで。

● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（管内に警報を発令中）

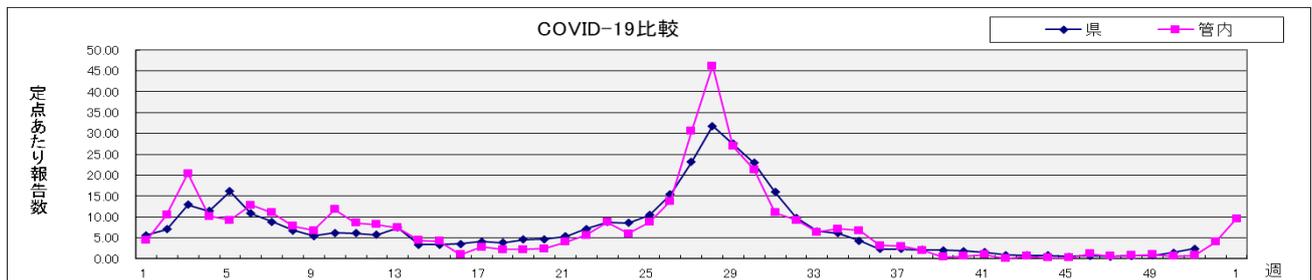


第1週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、52週の382人（定点当たり76.40）から90人少ない、292人（定点当たり58.40）となりました。

年齢別の報告では、30～39歳（32人）、10～14歳・40～49歳（各28人）、20～29歳・50～59歳（各21人）、2歳・60～69歳（各19人）、4歳（18人）、70～79歳（16人）、15～19歳（12人）、5歳・6歳（各11人）、6ヶ月～11ヶ月・7歳・9歳（各9人）、80歳以上（8人）、8歳（7人）、1歳・3歳（各6人）、5ヶ月以下（2人）となっています。

発症すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。これにより、重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

・COVID-19（増加傾向）



第1週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、52週の20人（定点当たり4.00）から8人多い、48人（定点当たり9.60）となりました。

年齢別の報告では、80歳以上（10人）、20～29歳・40～49歳（各6人）、30～39歳・50～59歳（各5人）、70～79歳（3人）、1歳・3歳・10～14歳・15～19歳・60～69歳（各2人）、6ヶ月～11ヶ月・2歳・6歳（各1人）なっています。

新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛）、頭痛、倦怠感等です。下痢、嘔吐、嗅覚・味覚障害をおこす事もあります。

感染症予防のポイント

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う）②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
③換気（部屋の換気を定期的に行う）④集団生活の場では、共用部分の消毒
基本的な感染対策ができていく見直しをしてみましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 12/23～1/5（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

52週（12/23～12/29）の出席停止については、インフルエンザ患者が98人（内訳：非型別インフルエンザが62人、A型インフルエンザが36人）、溶連菌感染症が1人、マイコプラズマ感染症が5人、手足口病が1人、COVID-19が4人報告されています。

自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	手足口病	新型コロナ感染症
日置市	53	3	1	3	1	2
いちき串木野市	9	33	0	2	0	2
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0
計	62	36	1	5	1	4